

KIITO: デザイン・クリエイティブセンター神戸×神戸市立三宮図書館 ワークショップ「かんたん本の修理教室」

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりワークショップを開催いたします。

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）では、神戸市立三宮図書館との連携事業として「Assemble—変容する「場」の可能性を考えるトークセッション」を開催しています。第5回は、「かんたん本の修理教室」を開催します。

ワークショップでは、図書館員が本の直し方をレクチャーします。たくさんの人に読まれていくうちに、段々と本のページが取れたり破れたりしていきます。そういった本を修理して、また本棚に戻し、手に取ってもらえるようにするのも図書館のお仕事のひとつ！本棚に並ぶ本の裏側をのぞいてみませんか？この機会にぜひご参加ください。



**事業名：Assemble アセンブル—変容する「場」の可能性を考えるトークセッション 特別編
第5回「かんたん本の修理教室」**

日時：2025年3月1日（土）11:30～12:15、14:00～14:45（2回開催、各回45分）

会場：神戸市立三宮図書館入口前エントランス

参加費：無料 定員：先着順で、各回定員5名

持ち物（あれば）：修理をしたい本（お持ちでない方も可） 傷みの程度によっては修理できない場合もあります。

【Assemble アセンブル—拡張する「場」の可能性を考えるトークセッションについて】

誰もが活用できる開かれた公共空間としての「場」の在り方や可能性を考えるトークシリーズ。わたしたちを取り巻く価値観の多様化、一人ひとりのライフスタイルの変化など、複雑化する社会において、図書館・文化施設の役割や機能も変化を求められています。多様な生き方、多様な人々。誰もが活用できる図書館とはどのようなものなのでしょうか。KIITOに移転する図書館を事例として、ゲストと共に議論を交えながら、図書館・文化施設などの公共空間の持つ意味や価値、「出会いの場」「交流の場」を創出する意義、創造的な「場」としての役割について考えます。



これまでの開催の様子

